



自衛隊栃木地方協力本部

地本に着任後初めての職業体験支援を担当して



展示車両上での記念写真
(宇都宮)



3 1 / 2 tトラック
体験搭乘 (宇都宮)



先生との記念写真
(北宇都宮)

栃木地方協力本部大田原地域事務所(所長 高井一陸尉) 広報官、佐藤2陸曹は6月11日(火)から13日(木)の間、宇都宮駐屯地及び北宇都宮駐屯地の支援を受け、3月着任以来初めて中学校のマイチャレンジ(職業体験)を担当した。同支援を振り返り感想を述べてくれたので紹介する。

参加生徒の栃木県立矢板東高等学校附属中学校生徒4名に対して5月21日(火)に同校で事前説明を行ったが全員が涙刺とした様子で「楽しみで仕方ない」と話しており、私の説明を終始笑顔で興味深そうに聞いてくれた。

各実施場所への送迎の車内では、私からの質問(中高一貫校である矢板東中の特色や学校生活)に対して楽しそうに答え、片道一時間超の移動時間をとても短く感じさせてくれた。様々な課目を体験した後の質疑応答では、「自衛隊勤務で一番成長できたことは?」「これまでで一番悲しかったことは?」と質問をしており、自衛隊に対してさらに興味を湧かせていた。各日毎に感想を聞いてみると、「自衛隊に対する興味がさらに芽生えた」「自衛官が皆さんとても親切で自衛隊に対する敵しいイメージが変わった」などと話していた。

最終日の帰りの車内では、「社会で活躍するために今からできることはありますか?」「チームワークを強くする秘訣はありますか?」と質問され、中学校2年生が職業体験を通じて将来のことを考えているということを実感でき非常に嬉しく感じました。また翌年以降も同校からの参加を楽しみにしています。

大田原地域事務所は「今後も、将来を担う若者の活動に積極的に参加することで、自衛隊の魅力を紹介していく」としている。



昼食(カレー)の様子(北宇都宮)



広報官「佐藤優真 2等陸曹」

